

「災害時における情報共有」

趣旨

災害時、速やかな被災地内外での組織的な支援活動には、ICT を活用した情報共有は不可欠である。近年では、様々な災害時の情報共有ツールの研究や整備が進み、実災害においても積極的に活用されている。

日本医師会では、2013年にJAXAと協定を結ぶなど関係事業者とともに、災害時の情報通信を確保するための訓練を実施してきており、近年では持ち運び可能な衛星アンテナの購入や、都道府県医師会との情報共有ツールを複数構築するなど、災害時の情報共有体制を常に見直してきた。

今回の提供セッションでは、日本医師会が構築している情報共有ツールについて、関連事業者との協力を得ながら紹介する。

開催方法はWEB方式とし、事前収録を行う。その収録動画は、2021年11月6日(土)、7日(日)に開催される防災推進国民大会2021にて、日本医師会が出展するシンポジウムセッションとして配信される(日医セッションは11月6日(土)14:30~16:00)。

防災推進国民大会(ぼうさいこくたい)

自助・共助の重要性が国際的な共通認識とされた「仙台防災枠組2015-2030」(2015年3月「第3回国連防災世界会議」にて採択)を踏まえて発足した防災推進国民会議の他、防災推進協議会、内閣府の三者主催によるイベント。国民の防災に関する意識向上を目的とし、様々な省庁、地方自治体等の公的機関、団体、企業、非営利法人が出展、セッションを行う。今回で6回目の開催であり、日本医師会も毎回出展してきた。前回はオンラインで開催され、1万5千人以上の視聴数と、約9万5千回の視聴があった。

主催者の一つである防災推進国民会議は、2016年に設置され、各界各層の有識者をもって構成し、中央防災会議会長(内閣総理大臣)が開催するもの。日本医師会長が議員に就任している。

防災推進国民大会 2021 日本医師会セッション

「災害時における情報共有」

収録日：2021年10月20日（水）

14時00分～15時30分（90分）

会場：日本医師会館（TV会議システム）

※当日の動画は、2021年11月6日開催の防災推進国民大会2021にて、
日本医師会出展シンポジウムセッションとして配信する。

司会：長島 公之 日本医師会常任理事

開会

挨拶 中川 俊男 日本医師会長

パネリスト

◆災害時の情報共有手段について

- 近藤 久禎 （一般社団法人日本災害医学会）

◆日本医師会地域医療情報システム（JMAP）と防災インターフェース（防災IF）およびその連携について

- 加藤 良平 （JMAP 開発者／株式会社ケアレビュー）
- 桐谷 浩太郎 （国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA））

◆災害時の情報通信の訓練と実際

- 瀬尾 淳 （スカパーJSAT 株式会社）
- 加陽 直実 （一般社団法人静岡県医師会）

ディスカッション

総括 猪口 雄二 日本医師会副会長

閉会